

園名	あそか保育園
日時	令和7年 3月

1, 活動テーマ

<テーマ>

2歳児：上履きを履いて音を出してみよう

<テーマ設定理由>

・初めて上履きを履いた時に嬉しそうに足踏みしたり、跳んだりする姿があった。また、自然と音を感じ口にする子がいた。子どもの自然な姿から気づきや発見があるのではないかと思った。

2, 活動スケジュール

・クラス移動になり進級クラスで過ごす。おやつ後に初めて上履きを履く。自分の上履きを嬉しそうに見せながら歩いたり跳んだりする。

3, 活動のために準備した素材や道具、環境設定

上履き 広いスペース

4, 探究活動の実践

<活動内容>

・進級クラスで初めて上履きを履く。その場で足踏みしたり、跳んだりする。（思いきり跳んだり軽く跳んだりと強弱を変える）
・手で上履きを持ち地面に当てて音を出す。



初めて上履きを履いたことを喜び、自然と部屋の中を歩きだした。「ドンドン」と言いながら歩く。音が大きくなると「音が響くね」とわかる子もいた。繰り返し楽しんでいった。



上履きの音が床に響くことに気づき力強く跳ぶ。「ドンドン大きな太鼓みたい」と言う。一人の子が「おおきなたいこ...」と歌い出すと一緒に歌を口ずさみながら音を出してた。



保育士が上履きを脱いでみて「靴下だと音が変わるかな」と言うと子ども達も真似て靴下で歩いたり跳んだりする。また、脱いだ上履きを手に持って床を叩いてみる子もいた。手で音を出すと「カンカンって聴こえた」と教える子がいた。

5, 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

子ども達の自然な姿を捉えることができた。保育士からの誘い掛けではなく、初めて上履きを履いた子ども達が自然に行った動きを記録に残すことができた。始めは上履きを履いたことを喜んでいるだけであったが、歩いたり跳んだりをする中で『音』に気づき、音の変化も感じる姿を見て、子どもの自然な姿には自由さや自然な反応があるのだと感じる。上履きを脱いだ時、手に持って叩いてみるのは子ども自身の発想であった。日常の些細なことでも子どものような自由な発想や楽しそうと思う気持ちが大切なのだと感じた。